

5684 **心模様：**山上は空気が澄んで、素晴らしい

.....

送電線始め、工事関係の車は通行しているような道路だが、
工事が、度々ある状況にはなさそうで、誰にも会わない。ママチャリを押して、さらに上へ。
道路標識には、行き先の指示はなく、「保津峡には行けません」と表示。
山上からの光景も見てみたい。上り坂が、夕日を浴びて、染まる。



～～山はみどり 野に花 人にはころこ～

ご紹介しているのは、ほんの一部だが、光景に見とれてしまった。

日が暮れてくる。戻る選択肢もあったが、道路の路肩との境界線が不鮮明。

今日は、大きな灯りも持参してきていない。

風が出てきて、粉雪のようなものが、舞っている。

ふと、私だけの考えだが、熊は天敵、ふと、脳裏をかすめたので、

北山杉だろうか、少し下に降りて、斜面に陣取り、しばし仮眠、眠れるわけではない。

2月17日（木曜日）、京都は満月。木の間から一瞬、見ることができた。



嘘だろう。雪に中。上り下りは、自転車を担いで。

足元も確認のため、そして、戻り、相棒の自転車の安定する場所へ。

四苦八苦して、保津峡の、石がゴロゴロした、川岸に到着。

